

会議録

会議の名称	平成31年度第1回 西東京市緑化審議会
開催日時	平成31年4月25日 14時00分から15時15分まで
開催場所	エコプラザ西東京 多目的スペース
出席者	委員:伊藤委員(会長)、飯田委員、村田委員、椎名委員、亀田委員、佐藤委員、中村(文)委員、池田委員、高橋委員、大矢委員、横山委員、加納委員、梅原委員、田巻委員、中尾委員(欠席) 事務局:みどり環境部長 萱野、みどり公園課長 渡邊、みどり公園係長 安達、みどり公園係主任 高島
議 題	1 第3回緑化審議会会議録(案)について 2 平成31年度審議会の進め方について 3 その他
会議資料の名称	資料1 第3回緑化審議会会議録(案) 資料2 平成31年度審議会の進め方 資料3 下保谷四丁目特別緑地保全地区 調査等支援委託の仕様の検討 資料4 下保谷四丁目特別緑地保全地区の調査・検証、分析・評価の仕組みイメージ
記録方法	<input type="checkbox"/> 全文記録 <input checked="" type="checkbox"/> 発言者の発言内容ごとの要点記録 <input type="checkbox"/> 会議内容の要点記録
会議内容	
<p><u>開会</u></p> <p>(会長)</p> <p>第1回西東京市緑化審議会を開催します。</p> <p>～事務局より資料の説明～</p> <p><u>1 第3回緑化審議会会議録(案)について</u></p> <p>～事務局にて資料1を説明～</p> <p>(会長)</p> <p>事務局から説明がありましたが、会議録についてご意見等ありますか。</p> <p>ご意見等無いようなので、承認してよろしいか。</p> <p>(委員)</p> <p>異議なし。</p> <p><u>2 平成31年度審議会の進め方について</u></p>	

～事務局にて資料2を説明～

(会長からの補足説明)

事務局から今年度の進め方について説明があったが、審議会委員には専門的な知識・経験等を持った方がいるので、小委員会というかたちでご協力いただき、審議会4回の他に適宜小委員会を開催したい。

今年度は、下保谷四丁目特別緑地保全地区での調査、開催するイベント、ボランティアの方の活動、他課で行う事業等と連携を取りながら進めていきたい。

専門的な観点での調査と市民等が参加するイベントが適宜行われていくとよい。

市では、コンサルタントをつけて活動のサポート(バックアップ、市民に伝えるツール)を考えている。

今後の保全活用につなげるための仕組みづくりが大切だと考えている。

～事務局にて資料3、4を説明～

(会長)

保全と活用を一体的にとらえ、実証実験を通してその可能性を見出していくという点を抑えながら活動していきたいが、その活動にあたり、小委員会を設置したいと考えている。委員の皆様にはその設置について承認いただけるか意見をいただきたい。また、候補の各委員には協力いただきたい。

小委員会は、継続してできることが重要なので、可能な範囲で可能な内容ということを前提に進めていきたい。

小委員会について質問はありますか。

(委員)

関係者への具体的な呼びかけ、調整等の運営はどうなるのか。

(会長)

運営については、事務局の役割、ボランティアとの協力、他課との連携等に関して活動をとおして体系化していけるとよい。

(委員)

各調査の日程調整はコンサルタントが行うのか。

(会長)

調査の日程調整は、コンサルタントではなく事務局になる。コンサルタントには、各活動の記録の取り方、記録を市民へどのように見せていくか、各活動を市民へどのように伝えていく

か等を提案いただけるとよい。

(委員)

現在考えている調査は、土壌回復調査ではなく雨水浸透調査になるので資料の名称を修正いただきたい。土壌が雨水をどの程度浸透させているかを調査する。土壌回復はその先にあるものになる。

(委員)

小委員会ごとの横の連携や関係性はどのようになるのか。

(会長)

小委員会は1つでその中に5つの要素があるイメージでいるが、そこも含めて小委員会で相談しながら進めたい。

(委員)

資料では、小委員会の実施内容が調査となっているが、調査の資料を作成するまでの委員会になるのか。

(会長)

下保谷四丁目特別緑地保全地区保全活用方針に基づき、保全と活用を一体ものと考え、当該地区の価値を調査しながら活動を進めていくという点では、調査のみではなく、活動も含まれるので、調査・活動という表記が適当か。

(委員)

実施内容の5つの項目すべてに調査・活動をつけると不適當なものもある。

(会長)

(1)は調査、(2)は調査・活動、(3)は検討、(4)は調査・検討、(5)は調査・活動との表記で整理できるか。

(委員)

実施する調査自体に市民や子どもたちが関わっていくことを考えると調査・活動では不適當な部分もあると思う。調査を行い、調査に市民も参加し、調査に関連したイベントを行うという一連の流れをとおして保全活用を考えるべき。

(会長)

調査の一連の流れの中で、市民連携等については佐藤委員にアイデアをもらいながら進めていけるとよい。各委員の調査について市民との関わりという点で連携していただきたい。

(委員)

市民との関わりという点で連携することで各調査を一体的に進めていけると考える。

(会長)

小委員会について意見をいただいたが、審議会で設置を了承いただけるか。

(委員)

異議なし(承認)

(会長)

小委員会は、本審議会の後、第1回目の会議を行う。小委員会についても私が責任を持って進めていきたいと考えているが、その点について審議会で了承いただけるか。

(委員)

異議なし(承認)

(会長)

続いて、これから募集を行うコンサルタントや業者委託の進め方について議論したい。

(委員)

資料3を見るとコンサルタントは事務作業や資料作成等を行うことになるが、内容の整理は小委員会で議論するものになるか。安全管理、活動のルールづくり、印刷物等も含めて仕様書を考えるべき。今後策定する計画に繋がるようにする必要がある。

(会長)

小委員会の中で具体的に考えた際に必要な要件等として出てくるものはあると思うが、現時点で一般的に必要なものがあれば意見をいただきたい。

(委員)

最終的な成果物として保全活用のガイドライン(ビジョン、計画、手法)等ができると関係者全体で目指すものを共有できるようになる。仕様書については、成果物を考えて議論するとよい。

(会長)

最後のまとめとして報告会や展示ができるとよい。

(委員)

フォーラムやポスターセッションの実施はよいと考える。今年度、翌年度、翌々年度と段階を踏んで進めていく視点も必要である。

(委員)

小委員会を設置するとなると活動内容が広がるので3年間くらいの長期的な視点を持って

どのように進んでいくかを見ながら議論していく必要がある。

(会長)

みどりの基本計画が平成 35(令和5)年度の改定となるので当面はその改定に向けた取り組みになると考えている。まずは小さな仕組みづくりから始めて長期的な視点で継続できるとよい。

3 その他

(委員)

昨年度武蔵野大学の学生さんが作成した、下保谷四丁目特別緑地保全地区の資料について発表の場を設けられるとよい。

(委員)

屋敷林をどのように整備していくかをまとめていくのは大変である。保全とはどうすることかを示しておかなければならない。

(会長)

屋敷林としての本来のあり方・管理の仕方を議論していくとは必要になる。また、管理していくうえでボランティアや市民等の地域連携が課題になると考えられる。

(委員)

今年度、下保谷四丁目特別緑地保全地区の植生や土壌を調査し、現状の自然環境を把握すること、将来に向けて当該地区を育てて使っていくこと、市民と連携して進めていくことの3点についての組み合わせを検討することが目標になるのではないか。

※次回は、7月18日(木)の午後に開催する。(詳細は別途通知する。)

4 閉会

(会長)

以上で、第1回西東京市緑化審議会を閉会します。